

令和4年度 第1回学校運営協議会

今年度第1回目の学校運営協議会を7月12日（火）に開催しました。

【教育活動参観】

縦割り清掃と5校時の授業を参観しました。



【話し合われたこと】

1 1学期の学校運営状況について

【校長より別冊資料P1より説明後、質疑応答】

- 委員： 今まで交通指導員をおこなってきたが、気になったこととして子どもたちのあいさつの声が小さい。一人一人に頭を下げてあいさつをしているつもりだが、あいさつが返ってこない。運転している母親にあいさつをすると助手席に乗っていることどももあいさつをしてくれる。
社会性を身に付けていくためにもあいさつが基本と考える。協議会の取り組みにあいさつに関する取り組みを入れてほしい。
- 校長： 子どもたちが会話に夢中しているとあいさつを返さないときがある。こちらから大きな声であいさつをするようにしている。
以前、集会であいさつをすると気持ちがいいと話をしたことがあるが、その良さをこれからも伝えていきたい。
- 委員： 全員で明るいあいさつができるような取り組みをしてほしい。社会性を身に付けるためにも家庭からあいさつをしあってほしいが、学校からの取り組みを発信してほしいと思っている。
- 委員： 協議会の中であいさつ運動を行っている。社会性を身に付けるためにも継続していきたい。
- 委員： スライドの中で、無気力と困難の間で学力向上を図っていくとき、困難を感じる前に学習をしっかり行うことが大切と考える。子どもたちが楽しく授業を受けられるカリキュラムや雰囲気づくりに気を配ってほしい。あいさつも家庭の問題と切り離さず、家庭でもあいさつをするような指導も行してほしいし、心に響く指導をお願いしたい。学校としてカリキュラム以外にも取り組んでほしい。
また、校長先生の経営の説明の中で、ADHDについて説明があったがその山を崩す指導をできるだけ早く行ってほしい。幼稚園や保育園のときから早期発見と早期治療が必要と考える。
- 校長： 本校も保育所等と連携しながら早期対応を大切にしている考える。学園に多くの対象者がいるが、なかなか検査できないし、資格を持った人がいない。
また、萩野出身の教員が少ない。地域を知っている委員の皆さんから地域の先生を紹介していただけるとありがたい。
- 委員： 萩野地区には囃子があるが、何かできないだろうか？
- 委員： 以前はみんなで意見を出し合い、昨年度は引き渡し訓練を行ったので今年には特に何かをしていこうということがあれば、意見をいただきたい。

2 地域とともに進めたい活動について

【教頭より資料を説明後、質疑応答】

- 委員： はぎの探究タイムについては統合する前から行い、今では旧小学校3校で実施してきたことを行っているが、学習について提案や地域人材の活用について意見があればいただきたい。こんなこともできるということがあればどんどん意見を出していただけるとありがたい。
- 委員： 今年、無農薬野菜を生産するとき、国から補助金をもらいながら行っている。その野菜を学校へ無料提供できるが、要望があれば提供していきたい。
- 教頭： 昨年度、昭和地区の生産者さんから野菜を栽培するときの思い等を聞く機会を設定した。地元への気づきという点でよい機会となったと考えている。
- 委員： 無農薬野菜づくりには、国・市も力を入れていることなので、要望があればいただきたい。
- 委員： 昭和地区の生産者は今年度も継続か？人数は？
- 委員： まだ2名だけであるが、広げていくことで国や市も考えているようだ。
- 委員： 遠慮せず、学校からも声を上げてほしい。地域に素晴らしい人材がたくさんいるので、協議会へ聞いてほしい。また、いやだという人はいないと思うので、遠慮しないで要望を挙げてほしい。
- 委員： あいさつ運動は有意義だった。笑顔で声を掛けていくと笑顔で返してくれた。できれば早めの時期がよい。提案にあるように8月から始めていいだろうか。良ければ事務局で日程を詰めてほしい。
- 委員： 引き渡し訓練は今年初めて行ったと思うが、状況を教えてほしい。
- 教頭： 昨年度は昭和地区・萩野地区限定で行ったがトランシーバーでのやりとりに課題を感じたので、今年はトランシーバーのやりとりについて場所を変えながら行ったので、少しは改善されたと思う。やってみることがやはり大事だなと感じた。
- 委員： 災害はいつ起こるかわからないので、日ごろの訓練が大切とかんがえる。反省をもとに改善を加えてほしい。
- 委員： 避難所開設を6月27日（月）に行ったようであるが、以前に同じような避難指示が発令された時、吉沢地区の人々が避難所（体育館）へ来られない状況があったと聞いた。その後、県関係者とスムーズな避難に向けた地域の実態について確認したことを記憶している。
- 校長： 記録用としての写真を撮影していなかったことが課題である。避難所開設と生徒の下校に集中していたからと考える。また、避難所開設や生徒を安全に下校させるためのマニュアル作りが必要と考える。9月22日（木）に避難所開設の訓練を行いたかったが、27日に開設訓練を行うことができたので、22日には行わず、別な企画で児童生徒の災害に向けた意識高揚を図っていきたい。
- 教頭： 環境課よりベッドやアルファ米を借用し玄関前への展示を考えている。
- 委員： 教職員が協力的でありありがたい。昨年度の放水訓練を見せていただき団員の励みとなった。これからも協力できることがあれば協力していきたい。

3 運営委員から

- 委員： 学園での生活は、相手への思いやりなどを体験する時期と考える。9年間の中で3回リーダーを経験し学ぶというのは重要で、思いやりなどの気持ちを育てるにはよい機会と考える。将来、萩野地区に残ってくれる児童生徒を育てていくことが大切なので、協議会としても協力していきたい。

- 委員： 将来の萩野地区を背負っていく児童生徒を育てていきたいが、具体的にどのようなことをしていったらよいかが見つけられないし、決められない。効果的に子どもたちのためになることや、学校のためになることを考えていきたい。
- 委員： 情報交換を密にしながら、子どもたちのために役立てていきたい。子どもたちのために役立つようなことを少しでもやっていきたい。
- 委員： 清掃を参観しながら、縦割りの良さがあるなと感じた。筋の通った指導だなと感じた。継続させていくことの大変さもあると感じるが、いいところは残しながらこれからも頑張ってもらいたい。萩野の良さを見つけれられるような探究タイムにしてほしい。
- 委員： 今年も猪子踊りについての要望があれば、パワーポイントを作って体験を伝えていきたい。併せて猪子踊りや泉田の囃子を発信していきたい。
- 委員： 教育環境が整っていると感じた。素直な子どもたちが多いなとも感じた。あいさつ運動をするとき、明るい笑顔で大きな声で行っていくよう伝えたい。あいさつをしっかりできるということは大切なことなので協調して伝えてほしい。
- 委員： 学校見学などさせていただきありがたい。来年度、自分の孫も入学するので、よろしくのお願いしたい。
- 委員： 何年かぶりに学校に来た。マスク生活が長くわたしたちの名前を呼んでくれる児童生徒が少なくなっている。マスクを外し「私の顔を知っているかな？」と聞いたとき、「知っている」と答えた児童生徒が少なく残念だった。最近、脅迫メールや宮城県での殺傷事件があり、自分の身は自分で守るという指導が大切と考えている。いかに子どもたちに地域の大人の顔を覚えてもらえるかも大切だと思う。また、青パトで地域内を巡回しているが、青パトの意味を児童生徒にも伝えてほしい。
- 委員： 校長先生が宿題を見てくれていると聞き驚いた。これからもお願いしたい。
- 委員： コロナ禍で様々な制限がかかっている中、児童生徒の生活の様子や、自学指導についてお聞きしたが、これからもこのような取り組みに力を入れていただきたい。
- アドバイザー
 - ： 先駆的な取り組みは参考になった。地域の方々との取り組みは大切だと改めて感じた。農業生産部に関して地産地消と言われるが、地産地育も大切にしてほしい。何かあれば声を掛けていただければ何なりと協力していきたい。
- 委員： いろいろな意見をいただきありがたい。これからもよろしくお願いしたい。
- 社教課
 - ： この4月から市内全校でこの協議会を設置した。一番萩野学園の歴史が深く、各校が学園の取り組みに興味を持っている。地域の人材や活用について学校側に提案し、継続して人材発掘等を委員会としても行い協力していきたい。開かれた学校づくりに向け、委員会としても協力していきたいので、今後ともよろしくお願いしたい。

4 連絡等

- 教頭： HP等へ会議録を載せていきたい。また、委員の写真等も載せていきたい。また、今後の予定として、第2回は11月、第3回は1月、第4回は3月を予定している。